

新木近隣センターだより

第235号

令和元年5月18日
新木地区まちづくり協議会
広報部会発行
我孫子市新木 1500
新木近隣センター内
Tel 04-7188-2010



さわやかな季節になりました。田植えが終わって、カエルが元気に鳴いています。幼い稲を抱いた水面には月が映えています。
朝には、小学生の元気な声が聞こえてきます。もうすぐ、運動会ですね。背筋を伸ばして歩きましょう。

新木近隣センターだより236号は、6月15日（土）発行します

新会長挨拶

新木地区まちづくり協議会 会長 松田 謙一郎

春の装いも美しく陽ざしもやわらかい今日この頃、新木地区の皆様にはご健勝のことと存じます。私こと、この度、第27回新木地区まちづくり協議会総会におきまして会長のご指名をいただきました。甚だ力不足ではございますが、尽力する所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

新木地区のコミュニティづくりの中心として活動展開をすることが、私達協議会委員に課せられた使命であると考えております。安心して住みよい環境づくりに微力ではありますが努力いたします。今後も引き続き、高齢化が進む新木地区の諸問題を改善するために先進的に取り組んでおられる諸活動を支援してまいります。

本年度も住民の皆様相互の親睦とふれあいを深めていただくため、当まちづくり協議会の4大イベントである、春まつり、夏まつり、文化祭、あわんとり等、いろいろな催しを開催いたしてまいりますので、積極的にご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



太巻きまつりずし 「ぶどう」を楽しみましょう

日時：6月23日（日）
13時30分～16時
会場：新木近隣センター 調理室
会費：800円
講師：川合美津子先生 募集：16名
持ち物：エプロン、三角巾、手ふき、
食器用ふきん、筆記用具、
お持ちの方は巻きずし
申込み：新木近隣センター
電話 7188-2010
締切り：6月18日（火）

シニア楽々講座

「いつまでも住みなれた街で」

内容：1. ころばぬ先の知恵
2. ためになる面白い「お話」を楽しく聞いてひと安心
3. 健康リズム体操
講師：山口江美先生（NPO 法人「鼓響」理事長）
日時：6月1日（土）13時30分～16時
会場：新木近隣センター 多目的ホール
参加費：無料（当日受付可）
皆様お誘い合わせの上、軽い体操のできる服装でお越し下さい。【お待ちしてまーす！！】

文化講演会ご案内

日 時：6月30日（日）10時～11時30分 会 場：新木近隣センター 多目的ホール
 講 師：新木小学校 横山悦子校長
 演 題：「感性を磨く」子ども達と俳句づくりを通して
 申込み：参加費は無料です。直接会場へお越しください

新木地区まちづくり協議会 令和元年度活動計画

新木地区まちづくり協議会は、「地域住民相互の親睦と交流を図り、当地域の住みよいまちづくり」を目標に、本年度は下記の活動計画を推進していきます。

1. 「新木地区住民の安全・安心・住みよいまちづくり」の活動を推進します。
 - (1) 自治会長懇談会を開催し、16自治会個々の課題を掌握し、新木地区の諸課題としての共通理解を深め、その解決に向けたコミュニケーション活動を推進します。
 - (2) サークル・団体とまち協の各種行事等推進のために協力関係を推進します。
 - (3) 新木地区の高齢者への支援活動を推進します。
 - ・新木野高齢者見守りネットワーク及び「ふらりえ新木野」の活動を応援します。
 - ・高齢者向けの講座等について、委員のみなさんとの意見交換を推進します。
 - (4) 新木小学校、湖北中学校との交流を図り、コミュニケーションを推進します。
 - (5) 湖北地区社会福祉協議会へ3人の委員をだしており、各種行事等の連携を図り、まち協と社協との相互協力を推進します。
 - (6) 新木地域会議の開催支援
2. 地域住民相互の親睦と交流を推進します。
 - (1) 四大イベントの開催

“新木ふれあい春まつり”	令和1年 5月19日（日）
“新木ふれあい夏まつり”	令和1年 8月10日（土）
“新木ふれあい文化祭”	令和1年11月 9日（土）、10日（日）
“新木ふれあいあわんとり”	令和2年 1月12日（日）
 - (2) 各種教室、講習会、歌声喫茶など、地域住民相互のふれあいの場を開催します。
 - (3) 子どもボランティア活動の充実を目指し、子どもボランティア独自のアイディアを活かせる活動を積極的に推進します。
 またイベントボランティアを随時募集し協議会活動を積極的に推進します。
3. 委員がつどい、親しみの持てるまちづくり協議会活動を推進します。
 - (1) 新木近隣センターを利用した委員相互のコミュニケーションを推進します。
 - (2) 親しみの持てる「新木近隣センターだより」「ホームページ」による情報を提供します。
 - (3) 老朽化する新木近隣センター館内外の環境整備を推進し、市との連携を図り、一つひとつ改善を進めます。

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	松 田 謙一郎	施設管理部長(兼務)	倉 上 光 夫
副 会 長	倉 上 光 夫	施設管理副部長	松野下 孝 子
総務部長	宮 下 克 彦	施設管理副部長	渡 部 武 雄
総務副部長	大 谷 薫	広報部長	青 山 純 子
総務副部長	河 合 升	広報副部長	橋 本 雅
企画部長	宮 田 孝 治	広報副部長	平 林 紀 史
企画副部長	五十嵐 英 男	監 事	山 崎 暁
企画副部長	沼 田 信 子	監 事	浅 井 清 治
経 理	若王子 範 文	顧 問	松 末 一 博
経 理 (兼務)	宮 下 克 彦		

再発見！我孫食PRし隊

～ 新木小5年生「総合的な学習の時間」の取り組み ～

新木小学校 校長 横山悦子

昨年の11月、5年生は、総合的な学習の時間において『新発見！我孫食フォーラム』をスタートさせました。「総合的な学習の時間」とは、簡単に言うと、自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる授業です。教科書はありませんが、これからの変化の激しい社会を生き抜くために重要な学びです。

5年生の先生方は、「地域の農作物について学ぶことを通して、友だちや家族、農家の方や市役所の方など、さまざまな方と交流することができたら素晴らしい。さらに、我孫子市の農業の魅力をたくさんの人に伝え、地域の人たちがつながり合えるような学習になれば・・・。」という願いを持ち実施しました。

まずは、実食です。子ども達は家庭科の「ごはんのみそ汁」を作る調理実習で、我孫子産米や大根のおいしさを味わいました。

次に、成山直売所とスーパーカスミ地産地消コーナーを見学し、おいしい野菜がどのようにつくられているのか、どのように消費者に届けられているのかを取材しました。この時、個々の疑問はノートにあふれていました。

続いて、「あびベジ」の農家の方や、我孫子市役所農政課の方を講師として招き、「苦労ややりがい」「我孫子市の農業の現状」などについて話していただきました。一つひとつ丁寧に答えてもらい、子ども達はうれしそうでした。

3学期、いよいよPR活動に向けて取り組みがスタートしました。テーマも「我孫食フォーラム」から、「我孫食PRし隊」に変わり、目的がしっかりと見えました。

子ども達は、地産地消の野菜を食べてほしいという強い願いを持ち、グループ毎に分かれて準備をしました。①パンフレット作成チーム、②ポスター、農業マップ作成チーム、③ホームページ、PR動画作成チーム の3つです。

半年間かかって調べ上げたことを、しっかりとまとめ、完成したのは3月でした。お世話になった皆さまをご招待して、報告会を行いました。推進するために、『トママト』というキャラクターまで作成しました。このように、子ども達の意欲に火がつけば、どこまでも発想は広がっていきます。

なお、PR作品は、現在、市内の各施設や店頭などに配置されています。本校のホームページでも見るすることができます。ぜひ、ご覧ください。



盛会でした歌声喫茶

5月4日開催の歌声喫茶は、鳥谷部さんの軽快なトークと臨機応変の伴奏、沼田さんの進行で、いつもの倍以上の56人の参加で、盛会に開かれました。

歌う音の高さは、リクエストした人が女性と男性で変えるなどして、歌いやすくするなど、歌う側に立った伴奏で大いに盛り上がりました。鳥谷部さんは、参加者の疲れ具合を見てはご自身のソロ演奏でつないだり、合間に認知症予防体操（コグニサイズ）を入れたり、歌の出だしが揃わないと序奏からやり直したりで、気配りも慣れたものでした。次回は9月7日（土）開催です。





我孫子市布佐・新木地区
高齢者なんでも相談室



■ 代表的な認知症(1)

認知症の多くは病気によるものです。代表的な認知症にアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症、アルコール性認知症があります。

アルツハイマー型認知症

もの忘れから気が付くことが多く、今まで日常生活でできたことが少しずつできなくなっていきます。新しいことが記憶できない、思い出せない、時間や場所がわからなくなる、などが特徴的です。また、物盗られ妄想や徘徊などの症状が出る場合があります。

【原因】

ベータたんぱくやタウたんぱくという異常なたんぱく質が脳にたまって神経細胞が死んでしまい、脳が委縮して（縮んで）しまいます。「記憶」を担っている海馬^{かいば}という部分から委縮がはじまり、だんだんと脳全体に広がります。

【主な症状】

- ・ 認知機能の症状新しく経験したことを記憶できず、すぐに忘れます。食事をしたこと自体を忘れてしまうのはそのためです。また、日付、昼か夜か、今いる場所、家族の顔などがわからなくなることもあります。さらに判断する力や理解する力が落ちて、食事を作ったり、おつりを計算することができなくなったりします。
- ・ 行動・心理面の症状
無為・無関心、妄想、徘徊、抑うつ、興奮や暴力などの症状が現れることがあります。
- ・ 身体面の症状
進行するまで目立ちません。

対応のポイント

◎否定しないで、本人の話をよく聞きましょう。

本人はすぐに忘れてしまうので何度も同じ質問や行動を繰り返し、ご家族や介護する方はイライラしてしまうことが多いようです。「財布を盗られた」という妄想も、本人にとっては現実。盗んでいないと反論しても通じません。

- 同じことを言われても、穏やかな気持ちで初めてのつもりで話を合わせる。
- 食事後に「まだ食べていない」と言われた時には「食べたでしょう」ではなく、「これから食べましょうね」というふうに接する。

※前号で記載した、千葉県の認知症高齢者予測は、平成27年（2015年）約25万人、令和7年（2025年）約35万人が、正しい予測値です。お詫びして訂正いたします。

今回はレビー小体型認知症についてご紹介します！

布佐・新木地区高齢者なんでも相談室



住所：我孫子市布佐平和台4丁目1番1号

電話：04-7189-0294

FAX：04-7189-0290

利用できる日：毎週月曜日から土曜日まで及び第4日曜日

担当地区

新木、新木野、南新木、布佐西町、布佐、布佐平和台、江蔵地、都、新々田、三河屋新田、相島新田、大作新田、布佐下新田、浅間前新田